

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001344387 A**

(43) Date of publication of application: **14.12.01**

(51) Int. Cl.

**G06F 17/60**

(21) Application number: **2000166563**

(71) Applicant: **NET SCHOOL KK**

(22) Date of filing: **02.06.00**

(72) Inventor: **KUWABARA TOMOYUKI**

(54) **METHOD AND SYSTEM OF LECTURER  
PAYMENT MANAGEMENT**

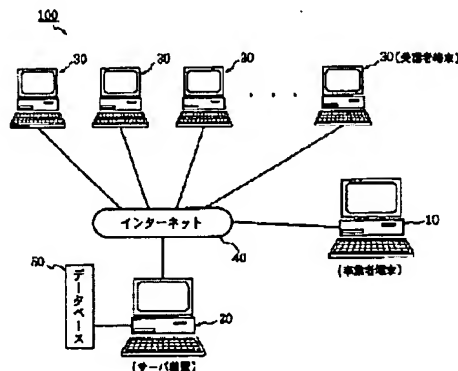
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system of lecture reward management capable of maintaining high motivation of lecture's through objective evaluation of factors, such as lecturing talent, popularity and contribution of every lecturer, so that the results of the evaluation is reflected in the payment for each of the lecturers.

SOLUTION: A server unit 20 releases a homepage over the Internet 40 for application for taking courses. The homepage can be accessed from terminals 30 by unspecified number of students. At every application for taking causes, the server unit 20 calculates the application numbers to the class respectively at each class, the counting results of the numbers to every class in a specified time period is stored into database 50 as the data to calculate the payment for the lecturer having charge of the class and also transferred to an operator's terminal 10 via the Internet 40. The terminal 10 processes the data from the server unit 20 to display on a monitor in a reference chart. An

training enterpriser can precisely and readily obtain application numbers for each class each month, and can reflect the results to the payment of each lecturer.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-344387  
(P2001-344387A)

(43) 公開日 平成13年12月14日 (2001. 12. 14)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/60	1 5 8	G 0 6 F 17/60	1 5 8 5 B 0 4 9
	1 2 8		1 2 8
	1 6 0		1 6 0

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-166563(P2000-166563)

(22) 出願日 平成12年6月2日 (2000. 6. 2)

(71) 出願人 500257942

ネットスクール株式会社

東京都千代田区三崎町3-1-1 高橋セ  
ーフビル

(72) 発明者 桑原 知之

東京都千代田区三崎町3-1-1 高橋セ  
ーフビル ネットスクール株式会社内

(74) 代理人 100085660

弁理士 鈴木 均

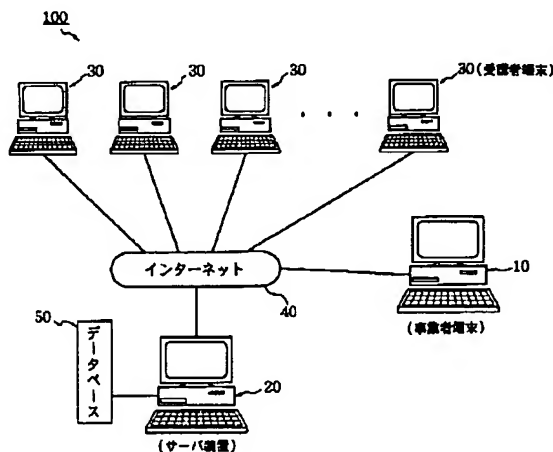
Fターム(参考) 5B049 BB21 CC36 EE28 GG04 GG07

(54) 【発明の名称】 講師報酬管理方法および講師報酬管理システム

(57) 【要約】

【課題】 各講師の講義能力や人気、貢献度といった要素を客観的に評価し、その結果を各講師への報酬に反映させることにより、講師のモチベーションを高く維持できる講師報酬管理システムを提供する。

【解決手段】 サーバ装置20はインターネット40上に受講申し込みのためのホームページを公開する。ホームページには不特定多数の受講者端末30からアクセスできる。サーバ装置20は、講座の受講申し込みがある度に、講座ごとにその講座の申込件数を計算し、一定期間内における各講座の受講申込件数の集計結果をその講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてデータベース50に保存するとともにインターネット40経由で事業者端末10に転送する。事業者端末10は、サーバ装置20からのデータを処理し一覧表にしてモニタに表示する。教育事業者は、モニタに表示された一覧表を見ることにより、各講座の各月毎の受講申込件数を容易かつ正確に把握でき、その結果を各講師への報酬に反映させる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申込件数を計算し、その計算結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする講師報酬管理方法。

【請求項2】 受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、各講座毎に一定期間内における申込件数を集計し、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする講師報酬管理方法。

【請求項3】 受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか、または当該申込者が既に受講した他の講座があり且つ当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であるかを判定し、どちらかに該当する場合には、当該申込者による新たな講座の申込件数を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする講師報酬管理方法。

【請求項4】 前記申込件数に単位報酬額を掛けて得られた値、または前記申込件数に申し込み金額の所定の割合の額を掛けて得られた値を、各講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の講師報酬管理方法。

【請求項5】 講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに受講生の端末装置からアクセスして当該受講生が受験に付随して取得した受験付随情報を入力できるようにしておき、受験付随情報が入力されると、当該受験付随情報が合格者のそれと一致したかを判定し、その判定結果を当該受講生が受講した講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする講師報酬管理方法。

【請求項6】 前記判定結果に基づいて、講座別または担当講師別に合格者輩出数を集計し、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする請求項5に記載の講師報酬管理方法。

【請求項7】 教育事業者の端末装置をインターネット

を介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、

前記サーバ装置は、インターネット上に受講申し込みのためのホームページを公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申込件数を計算する機能と、その計算結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする講師報酬管理システム。

【請求項8】 教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、

前記サーバ装置は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、各講座毎に一定期間内における申込件数を集計する機能と、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする講師報酬管理システム。

【請求項9】 教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、

前記サーバ装置は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか、または当該申込者が既に受講した他の講座があり且つ当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であるかを判定する機能と、当該判定の結果どちらかに該当する場合に当該申込者による新たな講座の申込件数を計算する機能と、その計算結果を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする講師報酬管理システム。

【請求項10】 教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、

前記サーバ装置は、講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに受講生の端末装置からアクセスして当

該受講生が受験に付随して取得した受験付随情報を入力できるようにする機能と、受験付随情報が入力されると、当該受験付随情報が合格者のそれと一致したか否かを判定する機能と、その判定結果を当該受講生が受講した講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする講師報酬管理システム。

【請求項11】 前記サーバ装置は、前記判定結果に基づいて、講座別または担当講師別に合格者輩出数を集計する機能と、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする請求項10に記載の講師報酬管理システム。

【請求項12】 前記サーバ装置は、前記メモリに保存したデータに基づいて各講座の担当講師への報酬額を計算する機能と、当該計算結果を前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする請求項7～11のいずれかに記載の講師報酬管理システム。

【請求項13】 前記教育事業者の端末装置は、前記サーバ装置から転送されてきたデータに基づいて各講座の担当講師への報酬額を計算する機能を有することを特徴とする請求項7～11のいずれかに記載の講師報酬管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明はインターネットを利用した講師報酬管理方法および講師報酬管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、資格試験のための授業や模擬試験などを提供する専門学校などの教育機関においては、講義の回数や時間、もしくは半年、1年といった契約期間に応じて担当講師に対価を支払う方式をとっている。この方式では、良い講義をして受講生の多くを合格に導いても、逆に良くない講義をして受講生の多くが落第してしまっても担当講師の収入は変わらず、また、受講生の相談に親身に対応しても感謝こそされ、担当講師の収入には結びつかないため、講師のモチベーションを高く維持することは困難である。このことは従来から多くの教育機関が抱えてきた問題であるが、個々の講師の講義能力や受講生からの人気、教育事業者に対する貢献度といった要素を客観的に評価する術がなかったため、未だ有効な解決手段は見いだされていない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本願発明は上述した問題を解決すべく創案されたものであり、その主要な課題

は、各講師の講義能力や受講生からの人気、教育事業者に対する貢献度といった要素を客観的に評価し、その結果を各講師への報酬に反映させることにより、講師のモチベーションを高く維持することができる新規な講師報酬管理方法および講師報酬管理システムを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申込件数を計算し、その計算結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリ（HDD等の磁気記録装置、DVD-RAM、DVD-R/RW、CD-R/RW、MO、MD等の光ディスク装置、等。以下同様。）に保存するようにしたことを特徴とする。また、請求項2に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、各講座毎に一定期間内における申込件数を集計し、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする。また、請求項3に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか、または当該申込者が既に受講した他の講座があり且つ当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であるかを判定し、どちらかに該当する場合には、当該申込者による新たな講座の申込件数を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする。また、請求項4に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、請求項1～3のいずれかに記載の講師報酬管理方法において、前記申込件数に単位報酬額を掛けて得られた値、または前記申込件数に申し込み金額の所定の割合の額を掛けて得られた値を、各講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする。

【0005】また、請求項5に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに受講生の端末装置からアクセスして当該受講生が受験に付随して取得した受験付随情報（受験番号、合格者番号など）を入力できるようにしておき、受

験付随情報が入力されると、当該受験付随情報が合格者のそれと一致したか否かを判定し、その判定結果を当該受講生が受講した講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする。また、請求項6に記載の発明にかかる講師報酬管理方法は、請求項5に記載の講師報酬管理方法において、前記判定結果に基づいて、講座別または担当講師別に合格者輩出数を集計し、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとしてメモリに保存するようにしたことを特徴とする。また、請求項7に記載の発明にかかるシステムは、教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、前記サーバ装置は、インターネット上に受講申し込みのためのホームページを公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申込件数を計算する機能と、その計算結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。また、請求項8に記載の発明にかかるシステムは、教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、前記サーバ装置は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、各講座毎に一定期間内における申込件数を集計する機能と、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。

【0006】また、請求項9に記載の発明にかかるシステムは、教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、前記サーバ装置は、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにする機能と、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか、または当該申込者が既に受講した他の講座があり且つ当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であるかを判定する機能と、当該判定の結果どちらかに該当する場合に当該申込者による新たな講座の申込件数を計算する機能と、その計算結果を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接

続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。また、請求項10に記載の発明にかかるシステムは、教育事業者の端末装置をインターネットを介してサーバ装置に接続してなる講師報酬管理システムであって、前記サーバ装置は、講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページをインターネット上に公開し、当該ホームページに受講生の端末装置からアクセスして、受験に付随して当該受講生が取得した受験付随情報（受験番号、合格者番号など）を入力できるようにする機能と、受験付随情報が入力されると、当該受験付随情報が合格者のそれと一致したか否かを判定する機能と、その判定結果を当該受講生が受講した講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。また、請求項11に記載の発明にかかるシステムは、請求項10に記載の講師報酬管理システムにおいて、前記サーバ装置は、前記判定結果に基づいて、講座別または担当講師別に合格者輩出数を集計する機能と、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして前記サーバ装置内または前記サーバ装置に接続されたメモリに保存する機能と、当該メモリに保存したデータを前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。また、請求項12に記載の発明にかかるシステムは、請求項7～11のいずれかに記載の講師報酬管理システムにおいて、前記サーバ装置は、前記メモリに保存したデータに基づいて各講座の担当講師への報酬額を計算する機能と、当該計算結果を前記教育事業者の端末装置に転送する機能とを有することを特徴とする。また、請求項13に記載の発明にかかるシステムは、請求項7～11のいずれかに記載の講師報酬管理システムにおいて、前記教育事業者の端末装置は、前記サーバ装置から転送されてきたデータに基づいて各講座の担当講師への報酬額を計算する機能を有することを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】つぎに本願発明の実施の形態について説明する。図1に示すように、本願発明の講師報酬管理システム100は、教育事業者の端末装置（以下、「事業者端末」という。）10と、教育事業者が管理運営するサーバ装置20と、不特定多数の端末装置（以下、「受講者端末」という。）30とをインターネット40に接続してなる。以下、図1に示すシステム構成を前提にして、本願発明の各実施の形態について説明する。

〔第1の実施の形態〕図2に講師報酬管理システム100の第1の実施の形態における動作フローを示す。サーバ装置20は、インターネット40上に受講申し込みの

ためのホームページ(図3参照)を公開する(S101)。このホームページには不特定多数の受講者端末30からWebブラウザを用いてインターネット40経由でアクセスすることができる。そして、各受講者端末30のモニタに表示されたホームページ画面上で任意の講座を選択し、受講の申し込みを行うことができるようになっている。サーバ装置20は、講座の受講申し込みがある度に、その講座の申込件数を計算し(S102)、その計算結果をその講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、サーバ装置20内のハードディスクまたは外部のデータベース50に保存する(S103)。そして、保存したデータをインターネット40経由で事業者端末10に転送する(S104)。事業者端末10は、Webブラウザを用いてインターネット40経由でサーバ装置20にアクセスし、各種機能設定を行ったり所望のデータの転送要求を出したりすることができる(以下同様)。そして、サーバ装置20からインターネット40経由で送られてきたデータを処理し、その結果を、図4に示すような一覧表11にしてモニタに表示する(S105)。この表11には、講座名、担当講師名、その講座の受講申込件数などがそれぞれ対応させて記載されている。教育事業者は、事業者端末10のモニタに表示された一覧表11を見ることにより、各講座の受講申込件数を容易かつ正確に把握することができる。したがって、この実施の形態によれば、各講座の受講申込件数に単位報酬額を掛けて得られた額、または各講座の受講申込件数に申し込み金額の所定の割合の額を掛けて得られた額を、各講座ごとに求めて各講座の担当講師へ支払っていくといった報酬支払い方式を容易に実現できる。

【0008】[第2の実施の形態]図5に講師報酬管理システム100の第2の実施の形態における動作フローを示す。サーバ装置20は、インターネット40上に受講申し込みのためのホームページ(図3参照)を公開する(S201)。このホームページには不特定多数の受講者端末30からWebブラウザを用いてインターネット40経由でアクセスすることができる。そして、各受講者端末30のモニタに表示されたホームページ画面上で任意の講座を選択し、受講の申し込みを行うことができるようになっている。サーバ装置20は、講座の受講申し込みがある度に、講座ごとにその講座の申込件数を計算し(S202)、その値を内部のハードディスクに保存する(S203)。そして、一定期間(ここでは各月の初日から末日までの間)毎にその期間内における各講座の受講申込件数を集計し(S204)、その集計結果をその講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、サーバ装置20に接続されたデータベース50に保存する(S205)。そして、データベース50に保存したデータをインターネット40経由で事業者端末10に転送する(S206)。事業者端末10は、

サーバ装置20からインターネット40経由で送られてきたデータを処理し、その結果を、図6に示すような一覧表12にしてモニタに表示する(S207)。この表12には、講座名、担当講師名、その講座の各月毎の受講申込件数などがそれぞれ対応させて記載されている。教育事業者は、事業者端末10のモニタに表示された一覧表12を見ることにより、各講座の各月毎の受講申込件数を容易かつ正確に把握することができる。したがって、この実施の形態によれば、各講座の各月毎の受講申込件数に応じて、申込額のうちの一定の割合の額または一定額を、各月毎に数ヶ月分まとめて各講座の担当講師に支払っていくといった報酬支払い方式を容易に実現できる。

【0009】[第3の実施の形態]図7に講師報酬管理システム100の第3の実施の形態における動作フローを示す。サーバ装置20は、インターネット40上に受講申し込みのためのホームページ(図3参照)を公開する(S301)。このホームページには不特定多数の受講者端末30からWebブラウザを用いてインターネット40経由でアクセスすることができる。そして、各受講者端末30のモニタに表示されたホームページ画面上で任意の講座を選択し、受講の申し込みを行うことができるようになっている。サーバ装置20は、講座の受講申し込みがある度に(S302でYes)、その講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか否かを、データベース50内に保存されている現在の受講登録情報から調べる(S303)。その結果、その申込者が現在他の講座を受講していなければ(S303でNo)、その申込者が既に受講した他の講座があるか否かを、データベース50内に保存されている過去の受講登録情報から調べる(S304)。その結果、その申込者が過去に何の講座も受講していなければ(S304でNo)、図2のフロー中のステップS102または図5のフロー中のステップS202に進む。それ以降は第1または第2の実施の形態の動作と同様である。一方、その申込者が過去に何か他の講座を受講していたことが判れば(S304でYes)、当該他の講座の受講期間終了後一定期間内(たとえば1年以内)であるか否かを調べる(S305)。その結果、当該他の講座の受講期間終了後一定期間を過ぎていた場合には(S305でNo)、図2のフロー中のステップS102または図5のフロー中のステップS202に進む。それ以降は第1または第2の実施の形態の動作と同様である。

【0010】一方、当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であれば(S305でYes)、その申込者による新たな受講申込件数を計算し(S306)、その計算結果を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、サーバ装置20内のハードディスクまたはサーバ装置20に接続されたデータベース50に保存する(S307)。そして、保存したデータをイン

ターネット40経由で事業者端末10に転送する(S308)。事業者端末10は、サーバ装置20からインターネット40経由で送られてきたデータを処理し、その結果を、図8に示すような一覧表13にしてモニタに表示する(S309)。この表13には、講師名と、その講師の講座受講生が受講期間終了後一定期間内に申込を行った他の講座(講座A、講座B、講座C、・・・)の申込件数とが対応させて記載されている。教育事業者は、事業者端末10のモニタに表示された一覧表13を見ることにより、各講師の講座を受講した受講生による他の講座の受講申込件数を容易かつ正確に把握することができる。したがって、この実施の形態によれば、ある講座の受講生が受講中、または受講終了後一定期間内に学習センター内の他の講座に申し込んだ場合には、その受講生(申込者)が受講中または過去に受講した講座の担当講師がそれをフォローしたものとみなして、申込額のうちの一定の割合の額または一定額を、各講座の担当講師に支払っていくといった報酬支払い方式を容易に実現できる。

【0011】[第4の実施の形態]図9に講師報酬管理システム100の第4の実施の形態における動作フローを示す。サーバ装置20は、インターネット40上に講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページ(図10参照)を公開する(S401)。このホームページには、各試験毎に、その試験の受験講座を受講した受講生の受講者端末30のみからWebブラウザを用いてインターネット40経由でアクセスすることができる。そして、各受講者端末30のモニタに表示されたホームページ画面の受験番号入力欄に受験番号を入力し、合否判定ボタンをポイントしてクリックすることにより、各受講者の受講者番号情報とともに各受講者の受験付随情報である受験番号情報がサーバ装置20に送信されるようになっている。サーバ装置20は、各受講者の受験番号情報を受信すると(S402でYes)、各受講者の受験番号が予めデータベース50に登録されている合格番号と一致したか否かを判定し(S403)、その判定結果(合否結果)を合否判定を依頼してきた各受講者の受講者端末30にインターネット40経由で送信するとともに(S404)、講座ごとに「合格」と判定された受講者数を集計し(S405)、その集計結果をその講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして、サーバ装置20に接続されたデータベース50に保存する(S406)。そして、データベース50に保存したデータをインターネット40経由で事業者端末10に転送する(S407)。事業者端末10は、サーバ装置20からインターネット40経由で送られてきたデータを処理し、その結果を、図11に示すような一覧表14にしてモニタに表示する(S408)。この表14には、各講座名、各講座の講師名、各講座の受講生のうちの合格者数、各講座の受講生数に占める合格者数の

割合すなわち合格率(%)などが示されている。教育事業者は、事業者端末10のモニタに表示された一覧表14を見ることにより、各講座を受講した受講生の合格者数や合格率を容易かつ正確に把握することができる。したがって、この実施の形態によれば、良い講義をしてより多くの受講生を合格に導いた担当講師がより多くの報酬を得られるように、各講座の受講生の合格者人数や合格率に応じて、各講座の担当講師にボーナスを支給したり、契約更新料や1講座当たり支給額を多くしたりする報酬支払い方式を容易に実現できる。

【0012】以上の実施の形態により実現される報酬支払い方式によれば、個々の講師の講義能力や受講生からの人気、教育事業者に対する貢献度といった要素を講師の収入に結びつけることができるため、講師のモチベーションを高く維持することが可能となる。なお、本願発明は以上の実施の形態に限定されるものではない。たとえば、サーバ装置20に、内部のハードディスクまたはデータベース50に保存したデータに基づいて各講座の担当講師への報酬額を計算し、その計算結果を事業者端末10に転送する機能を更に持たせ、各講座の担当講師への報酬額を含む情報を事業者端末10のモニタに一覧表示するようにしてもよい。また、上記報酬額の計算機能を事業者端末10に持たせてもよい。このようにすれば、事業者端末10のモニタに表示された一覧表11～14に基づいて事業者自身が各講座の担当講師への報酬額を計算する手間を省くことができる。また、この講師報酬管理システム100を銀行などの金融機関と接続し、サーバ装置20または事業者端末10により計算した各講座の担当講師への報酬額を、各担当講師の指定口座に自動的に振り込むようにすることも可能である。また、上記一覧表をモニタに表示する代わりに、用紙に印刷するようにしてもよいことは無論である。

#### 【0013】

【発明の効果】以上説明したように、本願発明は以下のような優れた効果を奏する。請求項1および7に記載の発明では、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、そのホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、当該講座の申込件数を計算し、その計算結果を当該講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして保存するようにしたので、各講座の受講申込件数に応じて、申込額のうちの一定の割合の額または一定額を、各講座の担当講師に支払っていく報酬支払い方式を容易に実現できる。請求項2および8に記載の発明では、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、そのホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、各講座毎に一定期間内における申込件数を集計し、その集計結果を当該講座の担当講師への報酬額を



算定するためのデータとして保存するようにしたので、各講座の一定期間毎の受講申込件数に応じて、申込額のうちの一定の割合の額または一定額を、一定期間毎にまたは数期間分まとめて各講座の担当講師に支払っていく報酬支払い方式を容易に実現できる。請求項3および9に記載の発明では、受講申し込みのためのホームページをインターネット上に公開し、そのホームページに不特定多数の端末装置からアクセスして任意の講座の受講申し込みができるようにしておき、講座の受講申し込みがある度に、その講座の申し込みを行った申込者が既に他の講座を受講中であるか、またはその申込者が既に受講した他の講座があり且つ当該他の講座の受講期間終了後一定期間内であるかを判定し、どちらかに該当する場合には、当該申込者による新たな講座の申込件数を当該他の講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして保存するようにしたので、ある講座の受講生が受講中、または受講終了後一定期間内に他の講座に申し込んだ場合には、その受講生が受講中または過去に受講した講座の担当講師がそれをフォローしたものとみなして、申込額のうちの一定の割合の額または一定額を、各講座の担当講師に支払っていく報酬支払い方式を容易に実現できる。請求項5および10に記載の発明では、講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページをインターネット上に公開し、そのホームページに受講生の端末装置からアクセスして当該受講生が受験に付随して取得した受験付随情報を入力できるようにしておき、受験付随情報が入力されると、当該受験付随情報が合格者のそれと一致したか否かを判定し、その判定結果を当該受講生が受講した講座の担当講師への報酬額を算定するためのデータとして保存するようにしたので、良い講義をしてより多くの受講生を合格に導いた担当講師がより多くの報酬を得られるように、各講座の受講生の合格者人数や合格率に応じて、各講座の担当講師にボーナスを支

給したり、契約更新料や1講座当たり支給額を多くしたりする報酬支払い方式を容易に実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本願発明の講師報酬管理システムの構成例を示すシステム構成図である。

【図2】本願発明の第1の実施の形態における動作フローを示すフローチャートである。

【図3】受講申し込みのためのホームページの表示画面を例示する説明図である。

【図4】教育事業者の端末装置のモニタに表示される受講申込件数情報の表示画面を例示する説明図である。

【図5】本願発明の第2の実施の形態における動作フローを示すフローチャートである。

【図6】教育事業者の端末装置のモニタに表示される受講申込件数情報の表示画面を例示する説明図である。

【図7】本願発明の第3の実施の形態における動作フローを示すフローチャートである。

【図8】教育事業者の端末装置のモニタに表示される受講申込件数情報の表示画面を例示する説明図である。

【図9】本願発明の第4の実施の形態における動作フローを示すフローチャートである。

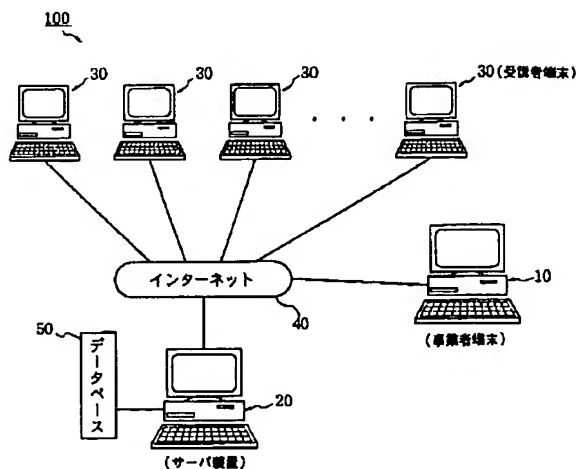
【図10】講座の受講生を対象に合否調査を行うためのホームページの表示画面を例示する説明図である。

【図11】教育事業者の端末装置のモニタに表示される合格者輩出数情報の表示画面を例示する説明図である。

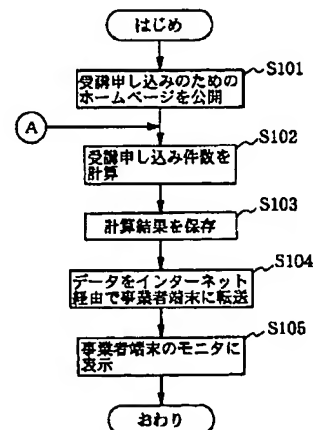
【符号の説明】

- 10：事業者端末（教育事業者の端末装置）
- 20：サーバ装置
- 30：受講者端末（不特定多数の端末装置）
- 40：インターネット
- 50：データベース（メモリ）
- 100：講師報酬管理システム

【図1】



【図2】





【図3】

**Net School**

ご希望の講座を選んで下さい。

講座A

講座B

講座C

講座D

講座E

講座F

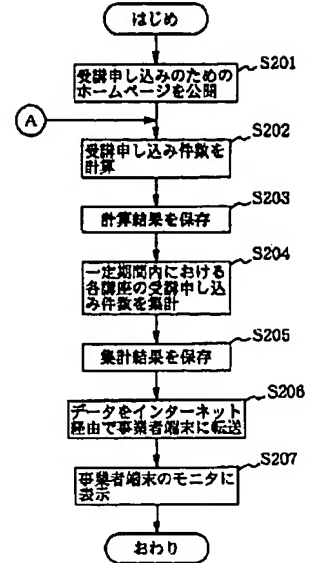
講座G

講座H

【図4】

No	講座名	担当講師	件数
1	〇〇講座	〇山〇夫	30
2	××講座	〇川〇子	101
3	△△講座	〇岸〇平	99
4			
5			

【図5】



【図6】

No	講座名	担当講師	件数		
			1月	2月	3月
1	〇〇講座	〇山〇夫	0	11	23
2	××講座	〇川〇子	2	5	44
3	△△講座	〇岸〇平	4	20	17
4					
5					

【図10】

**合否判定のページ**

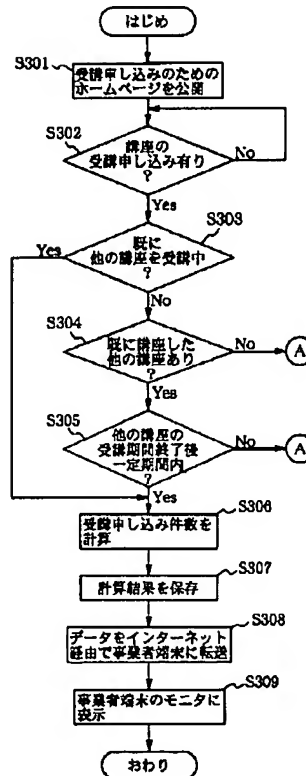
〇〇士試験の合否判定をおこないます。  
受験番号を入力して下さい。

受験者番号: 01234

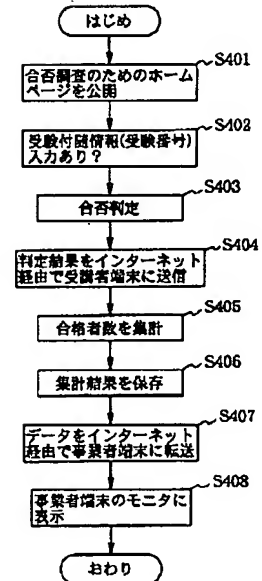
受験番号:  (半角)

合否判定

【図7】



【図9】



【図8】

13

No	講師名	受 講 生 の 他 講 座 申 込 件 数						
		講座A	講座B	講座C	講座D	講座E	講座F	講座G
1	○川○人	51	32	21	22	0	0	0
2	△山△子	52	22	21	0	0	0	0
3	×川×美	0	45	36	0	0	23	27
4	○島○男	9	1	1	3	0	0	3

【図11】

14

No	講座名	担当講師	合格者数	合格率(%)
1	○○講座	○山○夫	101	85
2	△△講座	○川○子	99	55
3	○×講座	○田○男	211	75